

保護者の皆様

狛江市立狛江第五小学校長

細谷 俊太郎

5月の安全指導について

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。5月の安全指導は以下のとおりです。ご家庭でもお子さんと地震等の災害時にどのような行動をとると良いか、今一度ご確認ください。また、引き取り訓練の際には、通学路等の危険箇所もお子さんと一緒にご確認ください。

○実施内容 【地震に対する基本行動を覚えよう】

☆「おかしもち」の約束

「お」…おさない
「か」…かけない
「し」…しゃべらない
「も」…もどらない
「ち」…ちかよらない

たおれてこない
おちてこない
うごいてこない

建物が倒れてこない場所、物
が落ちてこない場所、動いてく
るものがない場所をかくにん
する。

☆第一に身の安全!

- ① テーブルの下にかくれる ※頭を必ず入れ、机の脚をしっかりとつかむ。
- ② すばやく火の始末
- ③ ドアをあけて脱出口の確保
- ④ 火が出ていたら消火
- ⑤ 慌てて飛び出さない

近くの大人に助けを求める

☆避難するときは・・・

- ① もう一度火元の確認
- ② 頭をしっかりと守る
- ③ 両手には何も持たない
- ④ 必ず徒歩で避難(自転車は使わない)
- ⑤ 危険な場所を避ける
- ⑥ 家族と決めた避難場所に逃げる

裸足で逃げない。足の裏をけがして動けなくなる場合もある。
サンダル等ではなく、しっかりした靴を履いて逃げる。

【危険な場所】とは・・・

狭い道・ブロック塀(急に倒れる危険)
がけや川岸(川が増水し危険)
倒れた電柱(放電している可能性)
垂れ下がった電線には触らない(感電)

☆家族で確認を!

災害はいつ起こるかわかりません。また、そのときに家族が一緒にいるとは限りません。

→災害時にどうすればよいか、事前に話し合っておくことが大切です。

- ① 家の中でどこが一番安全か?また危険なところはどこか?を理解しておく。
- ② 避難場所・連絡方法を確認しておく。
- ③ 消火器や救急箱、非常用持ち出し袋・非常用品などの置き場所を決めておく。

担当 生活指導主任 井上 愛子